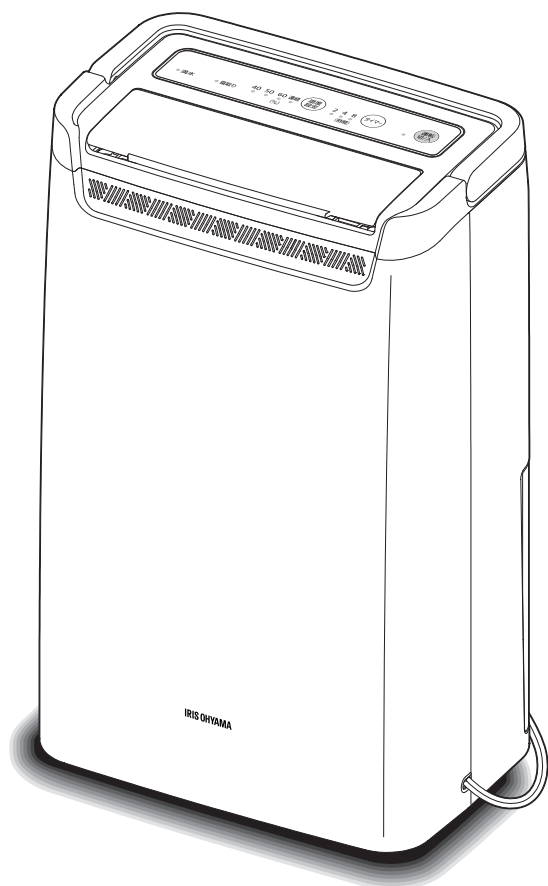


# 衣類乾燥除湿機

DCE-6515

## 取扱説明書



この商品は海外ではご使用になれません。  
FOR USE IN JAPAN ONLY

### 保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

## もくじ

### ご使用前に

安全上の注意 .....	2
使用上の注意 .....	4
各部の名称 .....	6

### 取り扱いかた

使いかた .....	8
お手入れ .....	11
保管のしかた .....	12

### こんなときには

故障かな?と思ったら .....	13
仕様 .....	15
保証とアフターサービス .....	15
保証書 .....	裏表紙

# 安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。  
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

## 図記号の意味



注意を示す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



## 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う  
おそれがある内容を示しています。

### 電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り  
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む  
ショートによる火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く  
感電やけがの原因になります。  
ただし、使用後約4分間は冷却のため、電源プラグを抜かないでください。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない  
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない  
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、修理専用コールへお問い合わせください。

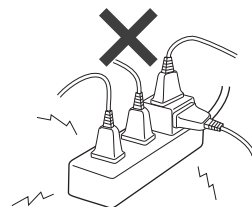


- 電源コードをたばねて通電しない  
過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。

- 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない  
火災・感電の原因になります。

- 電源コードを傷付けない  
傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。  
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない  
火災の原因になります。



- 交流100V以外では使わない  
火災・感電の原因になります。



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない  
火災・感電・けがの原因になります。修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。  
修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。



- 屋外で使用しない
- 押し入れや家具のすき間など狭い場所で使用しない  
過熱して火災の原因になります。

- 風の流れをさえぎるようなものの周囲で使用しない
- ほこり、粉塵の多い場所で使用しない  
発煙・火災・故障の原因になります。



- 除湿・衣類乾燥以外の用途に使用しない  
異常動作・火災の原因になります。

- 業務用など家庭用以外の用途に使用しない  
本製品は家庭用として設計されています。業務用など家庭用以外の用途に使用すると、火災などの原因になります。

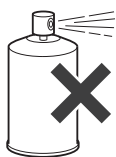


水ぬれ禁止

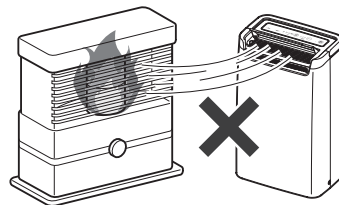
- 水まわり、風呂場など水のかかる場所では絶対に使用しない
- 本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない  
火災・感電の原因になります。



- スプレーをかけない  
(殺虫剤、整髪料、潤滑油など)
- 引火性のもの(灯油・ガソリン・シンナーなど)、可燃性のもののそばで使わない
- 油煙の舞う場所や近くで使用しない  
火災の原因になります。



- 風をストーブなどの燃焼器具に向けて使用しない  
不完全燃焼や炎の飛散を引き起こし、一酸化炭素中毒や火災の原因になります。



- 火気の近くで使用しない  
火災や誤動作の原因になります。



- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く  
発煙・火災・感電のおそれがあります。  
【異常の例】
- 異常な音やにおいがする
- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
- 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 運転中時々電源が切れる
- 触れるとビリビリ電気を感じる
- ➔ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



- 吹き出し口・吸気口、タンク挿入部の奥などのすき間にもものや手を入れない  
感電やけがの原因になります。

- 吹き出し口・吸気口を、布や紙、ビニール袋などでおおったりふさいだりして運転しない  
過熱して火災の原因になります。



## 注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く  
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く  
絶縁低下により、火災・感電の原因になります。



- 食品・医薬品・美術品・学術資料の保存など、業務用・特殊用途に使わない  
保存品の劣化の原因になります。家庭用ですので、業務用・特殊用途には使用しないでください。

- 除湿した水を飲料用・飼育用・栽培用などに使用しない  
健康を害したり、害を及ぼしたりするおそれがあります。



- 水平で安定した床の上で使用する  
不安定な場所・テーブルの上などで使用すると、転倒してけがや周囲の物品の破損の原因になります。



- 強い衝撃を与えない  
故障して、火災・感電の原因になります。



- 子どもなど取り扱いに不慣れな人だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない
- 乗ったり寄りかかったりしない  
感電・やけど・けがなどの原因になります。



- 煙や霧が出るくん煙タイプの殺虫剤を使うときは運転しない  
除湿機内部に薬剤成分が蓄積し、その後の運転で放出されて、健康によくない場合があります。  
殺虫剤の使用後は、十分換気してから運転してください。

## 安全上の注意 つづき

● 風を直接身体に当てない  
特に、小さなお子様やお年寄りにはご注意ください。体調が悪化したり健康を害する原因になります。

● 動植物に直接風を当てない  
害を与えるおそれがあります。

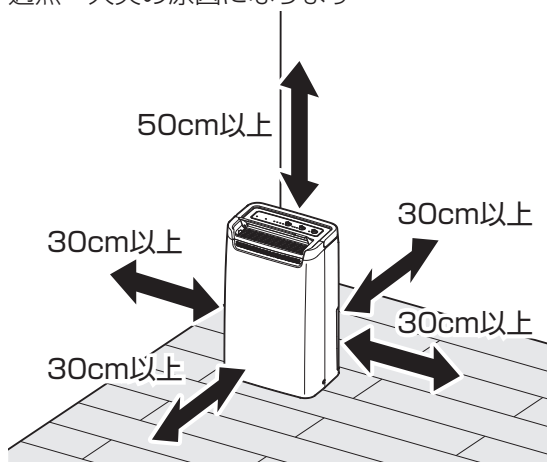
● タンクのフロートを外さない  
運転できなくなったり、水があふれて周囲の汚損の原因になったりします。

● 吸気口カバーやタンクを取り付けずに運転しない  
けが・感電・火災の原因になります。

● 移動するときは、運転を停止し電源プラグを抜いて、タンクの水を捨てる  
感電・火災、また漏水による周囲の汚損の原因になります。

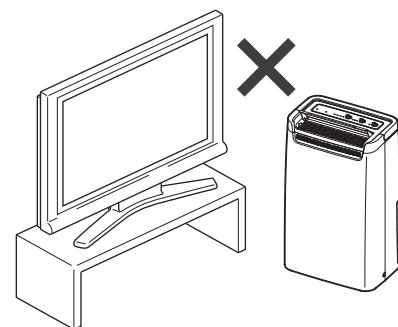
## 使用上の注意

● 設置の際は、カーテン・壁・家具などから、図に示す距離を離してください。  
過熱・火災の原因になります

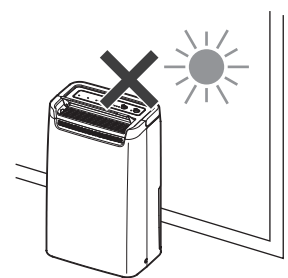


● なるべく閉め切った部屋で使用してください。  
運転中に窓や扉を開閉して室内の温度が大きく変わると、除湿量が低下する場合があります

● ラジオやテレビに近づけないでください。  
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。



● 直射日光やエアコン・暖房器具の温風が当たらないところに設置してください。  
変形・変色したり、センサーが温度・湿度を感知できずに誤動作する場合があります。



### 安全装置について

● 何も操作をしない状態が12時間つづくと、自動的に電源が切れて運転を停止します。(切り忘れ防止装置)  
切り忘れ防止装置が働いたときは、運転切/入ボタンを押すと運転を再開します。

# 使用上の注意 つづき

## ■衣類乾燥除湿機とは

室内に干した洗濯物は乾くまでに時間がかかります。屋外に干して乾燥できても、取り込む時間帯が遅くなると再び湿気を吸収してしまいます。

その間に、乾きの悪い洗濯物には雑菌が繁殖したり、においがついたりします。また、室内で蒸発した水蒸気は、畳などの床に吸収されたり、壁や窓に結露したりします。

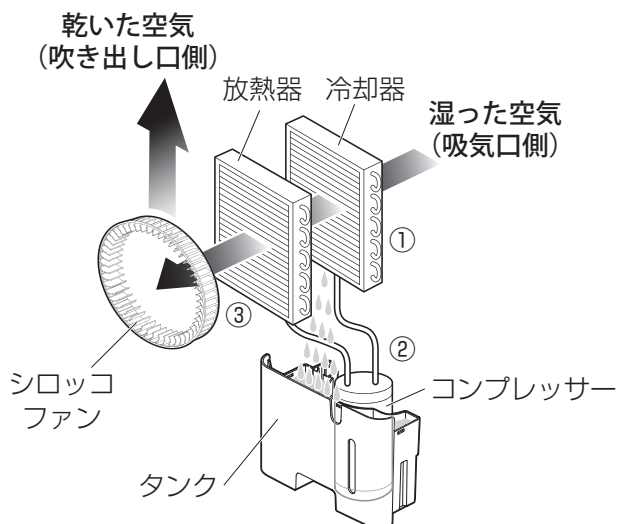
衣類乾燥除湿機は乾燥した空気を直接洗濯物に当てることですばやく衣類を乾燥させます。

また、除湿機の機能を活かして、衣類から蒸発した水分が他へ移る前にすばやく取り除き、かびや結露の発生を防ぎます。

## ■除湿のしくみ

本製品はコンプレッサー式除湿機の仕組みを利用しています。

- ① 吸い込んだ空気を冷却器で冷やします。
- ② 空気中の水分は冷却器表面で結露し、水滴となってタンクにたまります。
- ③ 冷却器で奪った熱は、放熱器で除湿された空気に戻されます。



### 室温が上がります

本製品は冷房機器ではありません。

閉め切った部屋で使用すると、室温が上昇します。

また、太陽からの輻射熱や他の家電から出る熱があると、より室温が上昇する場合があります。

### 除湿量について

室内の温度や湿度によっては、除湿しなかったり、除湿量が減少することがあります。

#### 室温が低いとき

- ・本製品は室温15～35℃で効率よく除湿できるように設計してあります。室温が低いときには、吸気と冷却器の温度差が小さく結露しにくいいため、除湿量も減少します。

#### 湿度が低いとき

- ・部屋の湿度が低いときには、空気中の水分量が少ないため、除湿量も減少します。

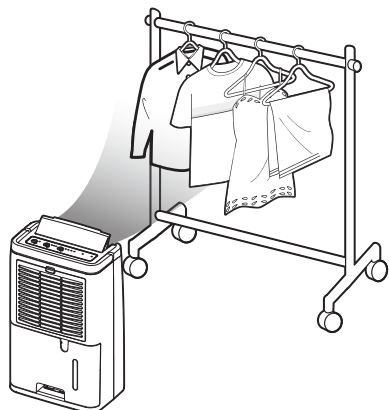
#### 設定湿度に達したとき

- ・目標湿度を設定して運転しているときは、設定した湿度に達すると除湿が停止するため、除湿量は減少します。

## ■上手な使いかた

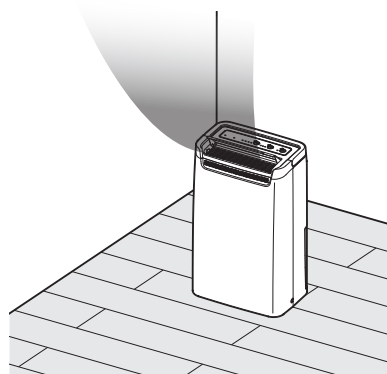
### 洗濯物を乾かすとき

除湿された風が洗濯物に当たるように、フラップで風向きを調節します。(→P6)



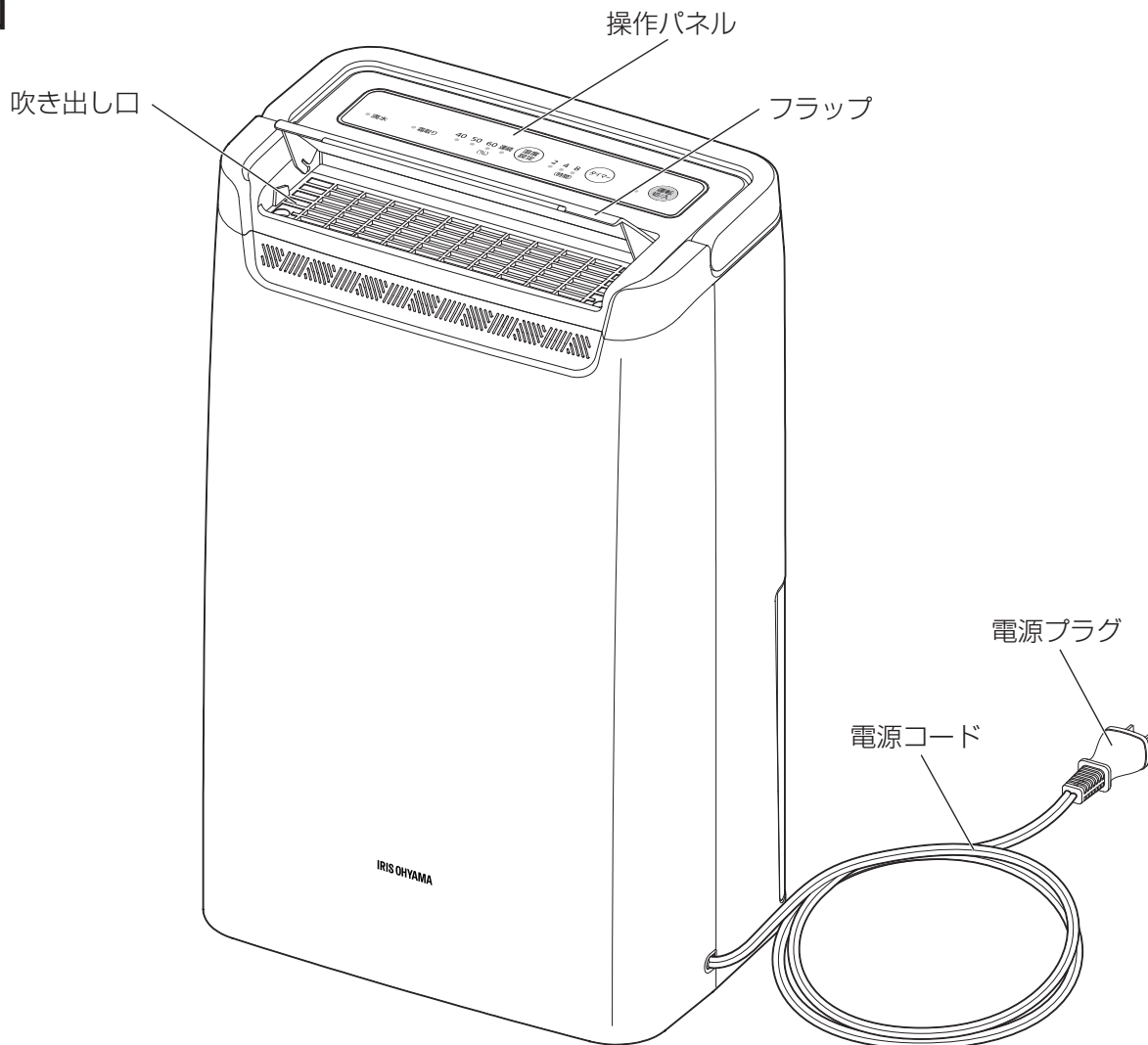
### 部屋の湿気を取るとき

吹き出し口のフラップを斜め上に向け、部屋全体の空気を循環させるようにします。



# 各部の名称

## ■ 正面



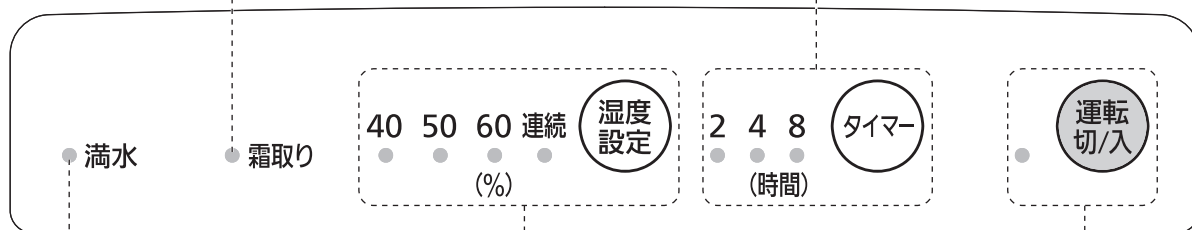
## ■ 操作部

### 霜とりランプ

内部の冷却器に霜が付くと、ランプが点灯して自動霜取り運転します。(→P9)

### タイマーランプ・ボタン

切タイマー時間を設定します。ボタンを押すたびに、2時間→4時間→8時間→消灯(タイマー解除)と切り替わります。残り時間に合わせて 8時間→4時間→2時間 と点灯するランプが切り替わって、残り時間がなくなると運転を停止します。(→P8)



### 満水ランプ

タンクが満水になったり、タンクが正しくセットされていないと点灯します。(→P9)

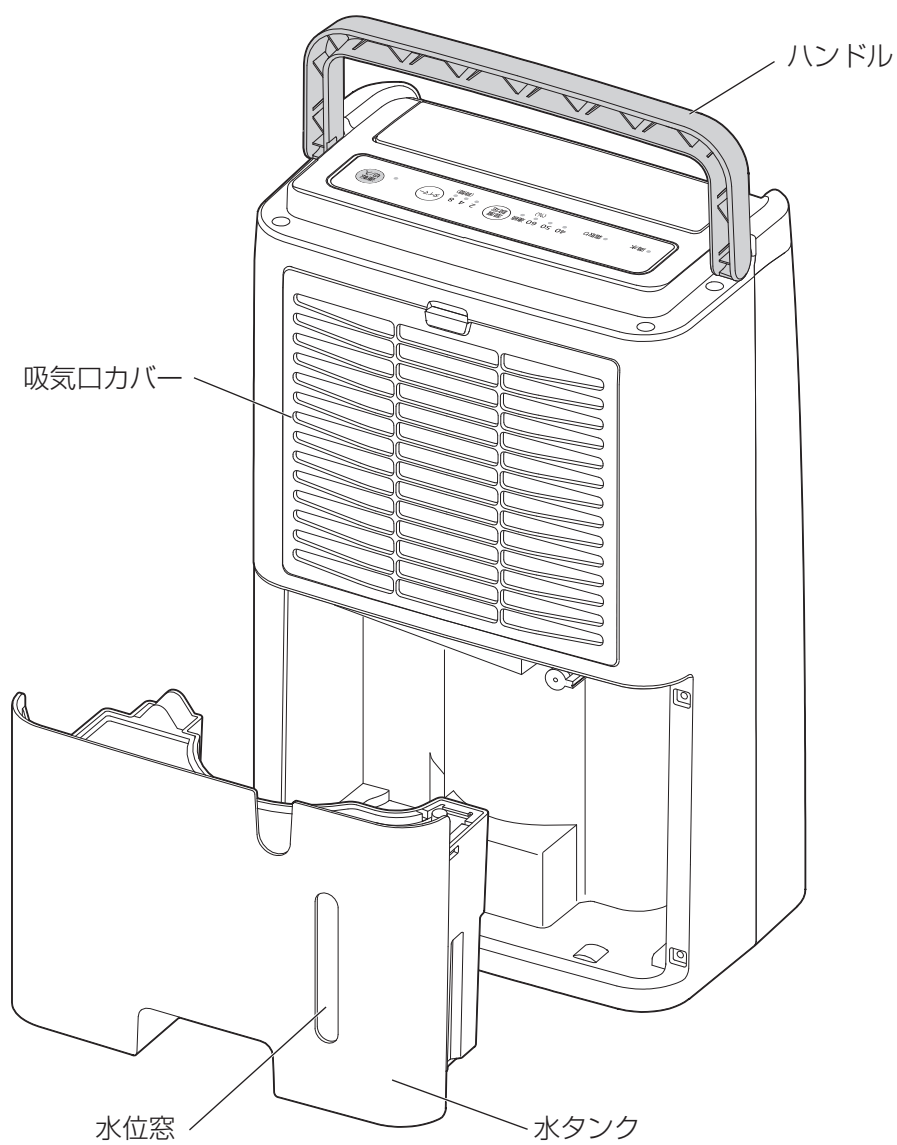
### 湿度設定ランプ・ボタン

目標湿度を設定します。連続を選ぶと、湿度に関係なく連続除湿運転します。(→P8)

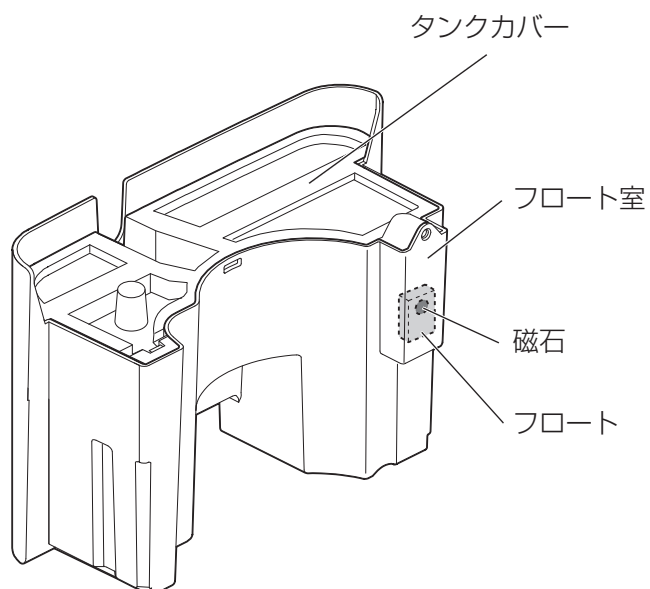
### 運転ランプ・運転切/入ボタン

ボタンを押すと、ランプが点灯して運転を開始します。再度ボタンを押すと、ランプが消灯して運転を停止します。(→P8)

## ■背面



## ■水タンク背面



# 使いかた

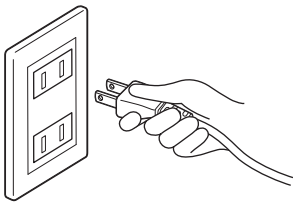
## 注意

- タンクが本体に確実にセットされていることを確認してください。タンクが正しくセットされてないと、満水ランプが点灯し、運転できません。

※ 何も操作をしない状態が12時間つづくと、自動的に電源が切れて運転を停止します。  
(切り忘れ防止装置、→P4)

## 1 電源プラグをコンセントに差し込む

- ピピピピッ♪と音が鳴り、全ランプが点灯してから消灯します。



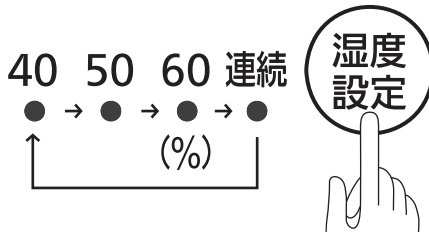
## 2 運転 切/入ボタンを押す

- 運転ランプが点灯し、運転が始まります。



## 3 好みの運転を選ぶ

- 湿度設定ボタンを押すたびに除湿のモードが切り替わります。



### 40、50、60 (%)

目標湿度を設定して、自動運転します。目標湿度を下回ると除湿を停止し送風運転に切り替わります。目標湿度を上回ると除湿運転を再開します。

### 連続

湿度に関係なく、連続除湿運転します。

## 4 洗濯物などに向けて風向きを調節する



- ※ 吹き出し口のフラップは、2段階に角度が調節できます。風向きを調節したい時に角度を変えてください。  
フラップは、水平にすると、吹き出し口のカバーになります。

## ■ 運転を停止するには

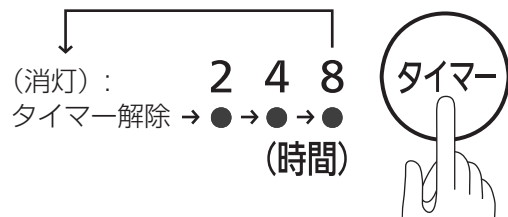
運転中に**運転 切/入**ボタンを押すと運転が停止して電源が切れます。



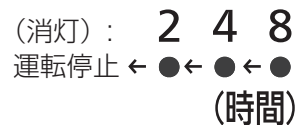
## ■ 切タイマー

切タイマーを使うと、設定した時間後に運転を停止することができます。

- タイマーボタンを押すたびに、次のように表示ランプが切り替わり、タイマーがスタートします。



- 残り時間が少なくなると、表示ランプもそれに合わせて切り替わります。



※ タンクが満水になる、またはタンクを取り外すと、**満水ランプ**が点灯しますが、タイマーは残り時間をカウントし続けます。

※ タイマー動作中に**タイマー**ボタンを押してタイマーランプ消灯させると、切タイマーは解除されます。

※ **運転 切/入**ボタンを押す、または電源プラグを抜いたときも、切タイマーは解除されます。

## ■ 満水ランプが点灯したら

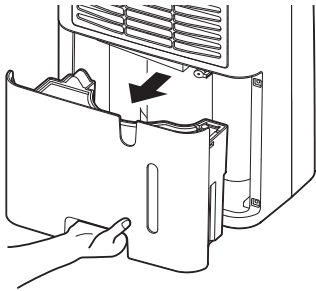
点灯  
● 満水

タンクが満水になると、ブザーが鳴り満水ランプが点灯して運転が停止します。タンクを取り出して排水してください。空になったタンクをセットすると、停止前の状態で運転を再開します。

### 排水のしかた

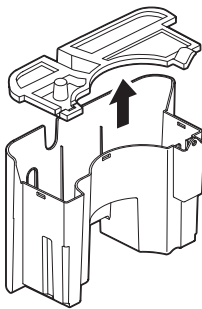
#### 1 タンクをゆっくり取り出す

- 片手で本体をおさえて、水をこぼさないようにゆっくり引き出してください。
- ※ 本体内部に水がこぼれていたなら拭き取ってください。



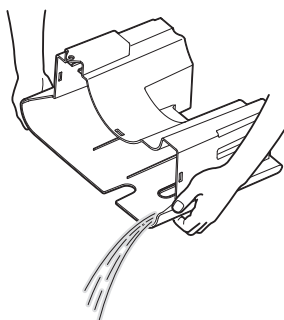
#### 2 タンクカバーを上につけて取り外す

※ カバーは前端中央でタンク内側に引っかかっています。外れにくいときは、すき間から指を入れて引っばって外してください。

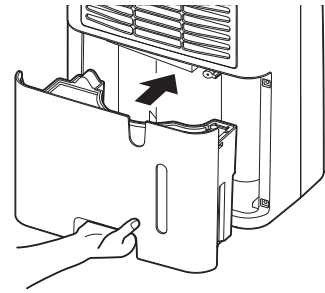


#### 3 水を捨てる

- タンク前側、左右どちらからか排水してください。



#### 4 タンクカバーを元通り取り付け、タンクを本体にセットする

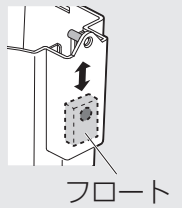


注意

- タンクカバーはしっかり取り付けてください。タンクカバーがないと水滴がタンクに流れません。また、すき間があると、水がこぼれることがあります。

注意

- タンクを正しくセットしないと運転しません。
- フロートが動かないと満水を検知できません。フロートが動かない場合は、タンクをゆするなどしてフロートが動くことを確認してからタンクをセットしてください。フロートが動かない場合は、フロート室を掃除してください



注意

- タンクの水はこまめに捨ててください。放置しておくと、雑菌の繁殖やにおいの原因になります。

## ■ 霜取りランプが点灯したら

室温が低くなると、本体内部に霜が発生することがあります。霜が発生したときは自動で霜取りをします。

- 霜取り運転中は、霜取りランプが点灯して、除湿は停止します。
- 霜取り運転中はファンが回ります。

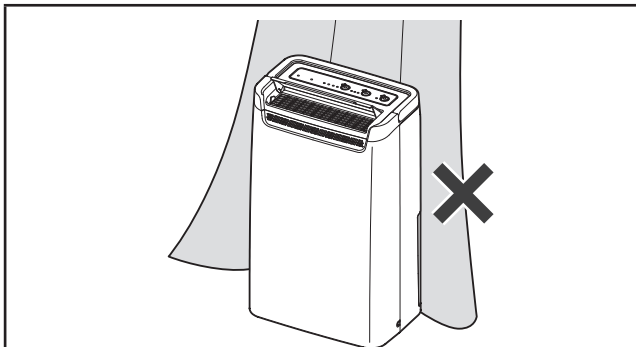
点灯  
● 霜取り

- 霜取りが終了すると、霜取りランプは消灯して除湿運転を再開します。

# 使いかた つづき

## ■霜取りランプが点滅したら

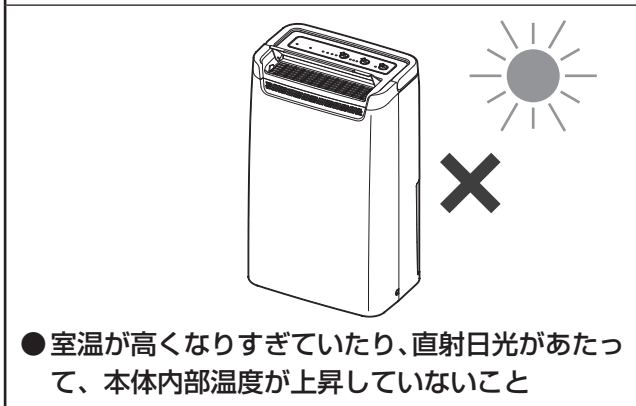
霜取りランプが点滅した場合は、電源プラグをコンセントから抜き、5秒ほどおいてから再度電源プラグをコンセントに差し込んでください。それでも霜取りランプが消えない場合は、以下の点検を行ってください。



●吸気口をカーテンなどがふさいでいないこと



●本体上部を布などでおおっていないこと



●室温が高くなりすぎている、直射日光があたって、本体内部温度が上昇していないこと

- ふさいでいるものがあれば取り除き、一度電源プラグを抜いてください。涼しい場所で1～2時間冷ましてから再度電源プラグをコンセントに差し込み、運転を再開してください。
- それでも霜取りランプの点滅が消えない場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご連絡ください。

# お手入れ



- お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- また、ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電やけがのおそれがあります。

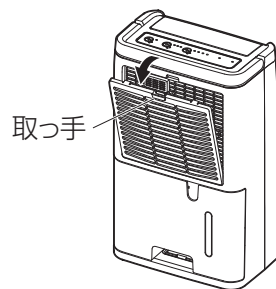
2週間に1回

## ■吸気口のお手入れ

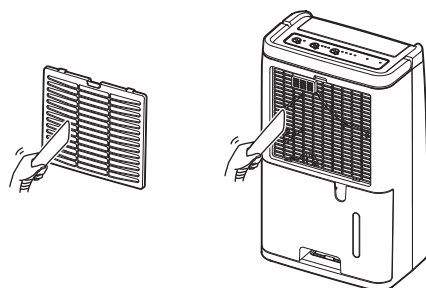
### 1 運転を停止し、タンクの水を捨てる

※水の捨てかたは、「排水のしかた」(9ページ)をご覧ください。

### 2 吸気口カバーの取っ手を手前に引き、上に持ち上げて外す



### 3 吸気口カバーと本体の吸気口を掃除機で掃除する



- 吸気口カバーの裏側にはエアフィルターが装着されています。エアフィルターを破損しないように注意してください。
- ブラシ付きノズルを使用する際は、フィルターの破損に十分気を付けてほこりを取り除いてください。

### 4 吸気口カバーを元通り取り付ける

- ・吸気口カバー下側の突起を本体にはめ込んでから、上側を押し込みます。

1か月に1回

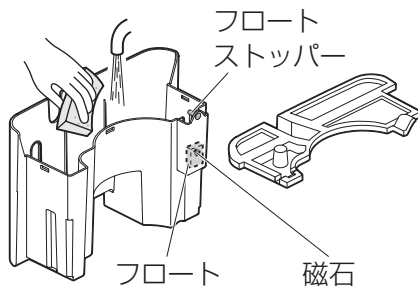
## ■タンクのお手入れ

### 1 運転を停止し、タンクの水を捨てる

※水の捨てかたは、「排水のしかた」(9ページ)をご覧ください。

### 2 水を捨て、タンクとタンクカバーを水洗いする

※フロート室内に異物やごみがあったら、洗い流してください。



**注意**

- タンクにはフロートが外れないようにストッパーが付いています。ストッパーが外れると、フロートも外れて満水を検知できなくなり、水があふれる可能性があります。

※フロートが外れたときは、磁石の付いている方を上、磁石の面を後ろに向けて取り付けてください。

### 3 よく水を拭き取ってタンクカバーを元通り取り付け、タンクを本体にセットする



**注意**

- タンクカバーはしっかり取り付けてください。タンクカバーがないと水滴がタンクに流れません。また、すき間があると、水がこぼれることがあります。

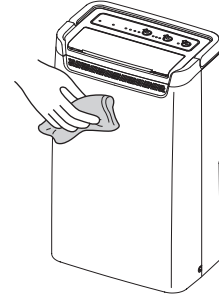
**注意**

- タンクを正しくセットしないと運転しません。
- フロートが動かないと満水を検知できません。フロートが動かない場合は、タンクをゆするなどしてフロートが動くことを確認してからタンクをセットしてください

1か月に1回

## ■本体のお手入れ

水またはぬるま湯(40℃以下)を含ませた柔らかい布をよくしぼって、汚れを拭き取ります。



**注意**

- 水をかけないでください。感電・けが・故障の原因になります。
- 化学ぞうきんを使用する際は、その注意書きにしたがってください。
- アルコール、ベンジン、シンナー、みがき粉などは使用しないでください。製品を傷めることがあります。

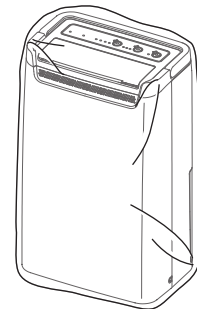
## ■保管のしかた

長期間使用しない場合は、以下の手順で保管してください。

### 1 運転を停止し、半日程度放置してからタンクを取り外して排水する。

### 2 本体・エアフィルター・タンクを、お手入れの手順にしたがってお手入れする

### 3 十分乾燥させてから、ほこりが入らないように、梱包箱またはポリ袋に入れる



### 4 直射日光が当たらず、湿気の少ない場所に立てたまま収納する

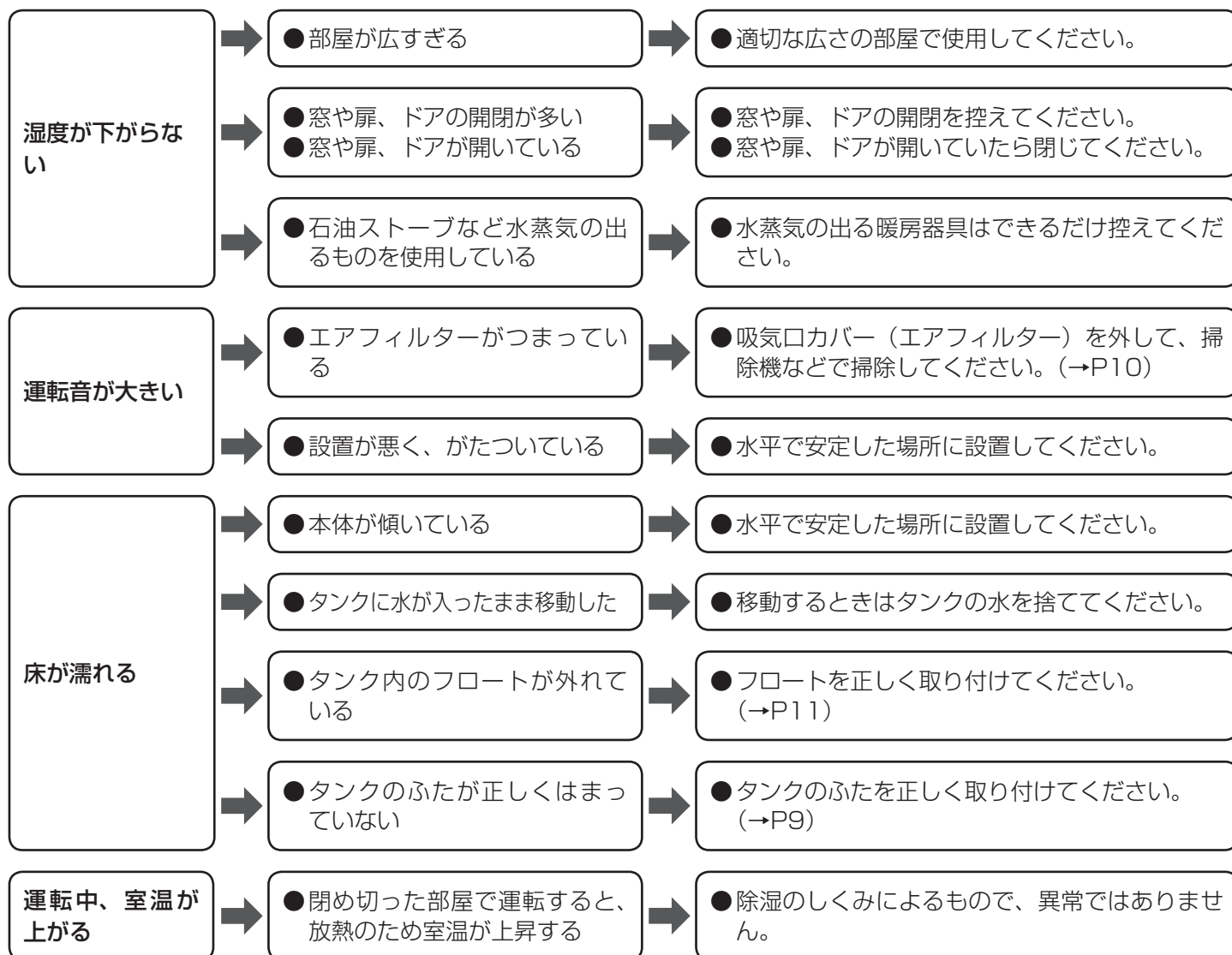
※長期保管後使い始めるときも、点検・お手入れをして清潔な状態で使用してください。

# 故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状態	考えられる理由	処置
運転しない	●電源プラグが確実に差し込まれていない	●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
運転が止まった	●12時間何も操作をしなかったため、切り忘れ防止装置が働いた	● <b>運転 切/入</b> ボタンを押すと運転を再開します。
運転しない (満水ランプが点灯している)	●タンクが満水になっている	●タンクの水を捨ててください。
	●タンクが正しくセットされていない	●タンクを本体に正しくセットしてください。
	●タンク内のフロートが外れている	●フロートを正しく取り付けてください。 (→P11)
運転しない (霜取りランプが点灯している)	●自動霜取りが働いている	●霜取りが終了すると、再び除湿運転します。
運転しない (霜取りランプが点滅している)	●本体内部が過熱している	●吸気口・吹き出し口をふさいでいるものを取り除いてください。または、直射日光や暖房から遠ざけてください。 さらに、一度電源プラグを抜いて、1～2時間冷ましてから再度電源プラグを差し込んでください。
	●室温が低すぎる ●室温が高すぎる	●適切な室温(0～40℃、効率よく除湿できるのは15～35℃)にしてください。 さらに、一度電源プラグを抜いてから、再度電源プラグを差し込んでください。
除湿しない、 除湿量が少ない	●エアフィルターが詰まっている	●吸気口カバー(エアフィルター)を外して、掃除機などで掃除してください。(→P10)
	●吸気口・吹き出し口がふさがれている	●ふさいでいるものを取り除いてください。
	●湿度(相対湿度)が低い ●絶対湿度(空気中に含まれる水分量)が低い	●温度が高くなるにともなって湿度(相対湿度)が低くなる、または温度が低くなるにともなって空気中の水分量(絶対湿度)が低くなると、除湿しなかったり、除湿量が低くなったりします。

※ 相対湿度：空気中に含むことのできる最大の水分量に対する、現在の水分量の割合(温度によって異なる)  
絶対湿度：空気1m<sup>3</sup>中に含まれる水分量



### それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



### 警告

● ご自分での分解・修理・改造はしないでください。

# 仕様

電源	AC 100V (50/60Hz共用)		
周波数	50Hz	60Hz	
定格消費電力	155W	175W	
定格除湿能力 <sup>※1</sup>	5.5L / 日	6.5L / 日	
除湿可能面積の目安 <sup>※2</sup>	木造	7畳 (12m <sup>2</sup> )	8畳 (13m <sup>2</sup> )
	プレハブ	11畳 (18m <sup>2</sup> )	12畳 (20m <sup>2</sup> )
	鉄筋コンクリート	14畳 (23m <sup>2</sup> )	16畳 (26m <sup>2</sup> )
タンク容量	約1.8Lで自動停止		
電源コード長	約1.8m		
製品寸法	幅290×奥行190×高さ477mm		
製品質量	9.3kg		

※1 定格除湿能力は、室温27℃、相対湿度60%を維持し続けたときの、1日（24時間）あたりの除湿量です。

※2 除湿可能面積の目安は、JEMA（日本電気工業会）規格に基づいた数値です。

※ 製品の仕様は予告なく変更することがあります。

# 保証とアフターサービス

必ずお読みください。

## ■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がありませんと、無料修理保証期間内でも代金を請求される場合がありますので、大切に保管してください。

## ■ 保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

## ■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

## ■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

### 廃棄について

- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

### 冷媒に関するご注意



この家庭用除湿機にはCO<sub>2</sub>（温暖化ガス）137kgに相当するフロン類（R-134a）が封入されています。地球温暖化防止のため、廃棄にあたっては冷媒フロン類の適切な処理が必要です。お住まいの地域の方法にしたがい廃棄してください。フロン類に関するお問い合わせは、アイリスコールへお願いいたします。

# 衣類乾燥除湿機 DCE-6515

# 保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	
年 月 日		お買い上げ日より：1年間	
お客様	お名前	※販売店	住所・店名
	ご住所 〒		
	電話 ( ) -		電話 ( ) -

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

## 保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料で修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
  - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
  - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
  - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
  - 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
  - お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
  - 本書の提示がない場合
  - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

**アイリスオーヤマ株式会社** 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号  
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは  
**アイリスコール** (通話料無料)

**0120-311-564**

修理に関するお問い合わせは  
**修理専用コール** (通話料無料)

**0800-170-7070**

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00  
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAX でのお問い合わせは (通信料無料)

**0800-888-2600**

Web からのお問い合わせは

<http://www.irisohyama.co.jp/support/>  
メールアドレスにご記入のうえ送信してください